

「にゅ〜'S」

N:西日本連合、Y:ユース、U'S:ユニオンの連合体

発行日:2018年3月30日

第28号

発行:JR西日本連合青年女性連絡会

JR西日本連合から12名が参加!



3月25日(日)~26日(月)、JR連合主催「第17回青年女性役員研修会」にJR連合の全国の青年・女性組合員が集い『民主化闘争』をテーマに開催されました。

1日目は、現在のJR労働界三極化構造を理解するため『国鉄・JR労働界の変遷』と題し、JR連合中山組織・政治部長にご講義いただきました。昨今では、JR西日本グループの労働組合にも他労組が触手を伸ばしているとの情報もあり、全員が危機意識を共有し受講することができました。

国鉄当時の最大労組である国労や鬼の動労(現在のJR総連の基盤組織)と呼ばれた労組によるストライキが横行。ストライキによって列車が遅れ利用者が減る、運賃値上げをする、また利用者が減るという負の連鎖があり、国鉄倒産の一因になったそうです。

こうした反省から、JR連合では労働者の権利ではあるが、『ストライキ権の行使はごく限定的』であるべきだとの理念を確認してきました。

また、JR東労組(JR総連)において約2万人もの組合脱退者が発生している現状について、JRイーストユニオン(JR連合)の菅野中央執行委員長から職場の雰囲気や今後の対応についてご説明いただきました。

2日目は、前日に学んだことを受けて感じたこと、私たち青年・女性連絡会世代はどのような労働組合を目指すべきなのかをテーマにディスカッションを行いました。「弱い労働者を守るために結成した労働組合として、組合員のことを第一に考え、みんなが参画する労働運動の重要性を再認識しよう」と多くの参加者から意見がありました。

私たち青年・女性連絡会は労働運動の入口として、魅力的なレクリエーションや学習会の開催などを企画し、人と人を結ぶ取組みを実践していくことを誓い合いました。

